

# 家庭教育に関する調査報告書

2014年3月

# 調査報告書目次

## 与件

— P.3

---

調査概要  
総論

---

## 調査結果サマリー

— P.6

家庭教育観  
家庭教育観の形成要因  
共感性が低い家庭教育観の形成要因

# 調査概要

調査目的	母親の家庭教育観を把握し、「薫化できる親になる」ことの促進策の考察につながる調査を行う。										
調査手法	インターネット調査（インテージ・ネットモニター使用）										
調査エリア	全国										
対象者	<p>【スクリーニング】 5000人(子どもの有無・長子年齢確認)</p> <p>【本調査】 子どもを持つ母親 900サンプル</p> <p>※対象除外業種・・・マスコミ・広告・新聞・放送業</p> <table border="1"><tr><td></td><td>女性</td></tr><tr><td>全体</td><td>900</td></tr><tr><td>【長子の成長段階別】</td><td></td></tr><tr><td>未就学児(0～小額就学前)</td><td>450</td></tr><tr><td>児童(小学校在学中)</td><td>450</td></tr></table>		女性	全体	900	【長子の成長段階別】		未就学児(0～小額就学前)	450	児童(小学校在学中)	450
	女性										
全体	900										
【長子の成長段階別】											
未就学児(0～小額就学前)	450										
児童(小学校在学中)	450										
	家庭教育における薫化の時期を幼少・学童期と捉えて、その段階の子どもを有する母親を対象とする。										
聴取項目	<p>30問</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・家庭教育のコンセプトに対する認知、共感性、重要性、実践性、実践意向</li><li>・家庭教育観の形成要因</li><li>・共感性が低い家庭教育観の形成要因</li><li>・属性</li></ul>										
調査期間	平成25年2月21日(金)～2月24日(月)										

# 家庭教育観

家庭教育観について12のコンセプトを設定し、下記の説明文を付してそれぞれの個人的共感度、社会的重要度、実践度、実践意向度を聴取した。

①無償の愛をもって育てる	すべてをただ与える、何も求めない、無償の愛情。強く正しい、大きな愛情を持って子供に接することが大切です。中途半端で弱々しい愛情はいけません。
②子供は「わがもの」ではなく「あずかりもの」として育てる	子供をわがものと思うから、子供に対し不足不満が絶えない。ああして欲しい、こうなって欲しいと望みをかけ過ぎて結果が反対になる。子供は世にもまれな宝、生きたあずかりものと考えべきです。
③子供は親の姿を映す鏡と思って育てる	子供を何とか直したいと苦心して叱ったり、手を尽くしても効果がない。考えを変えて、子供に親の姿が反映していると思って自分の心や行いを改めてみる。子供を変えるよりも自分を変える方が簡単なのです。
④両親やご先祖様を大切に育てる	両親を心から大切に喜ばせ、いたわり、子供に親孝行の手本を見せることが大切です。老人や目上の人への優しい心そのまま移って、素直なのびのびとした子供になります。
⑤夫婦仲良く育てる	妻は夫に、夫は妻にそれぞれ、行いを正しく、優しい心を持って対すること。真心から朗らかに、男女というまったく異なる個性が互いに補い支え合って暮らすこと。ここに健やかな子供が育ちます。
⑥信念を持ち、信じて育てる	「この子は弱いから、強い子にしたい」と「弱い子」と決めつけるといよいよ弱くなってしまいます。強い子にしようと思うなら「きっと強い子になる」と信じて育てることが大切です。
⑦行き過ぎることなく育てる	要らぬ心配、おせっかい。過ぎることは避けなくてはなりません。子供に何かを「させよう」「させまい」とする自分中心の心を捨てて子供の人格を信じて任せておけば、子供は希望通りに育ちます。
⑧よく遊ばせて育てる	遊びは子供の生活の全部です。遊んで知恵が付き、遊んで仲良くなり、家の中を世の中を明るくします。遊びのほかに子供の自由の世界はないと深く心に刻み、子供の自由を守ってあげましょう。
⑨公平に育てる	子供への心遣いの第一は公平ということです。どの子についても一様に、甲乙のない愛情を注がなくてはなりません。ただ与え、何も求めない愛の本質は絶対平等なものです。偏ってはなりません。
⑩人の正しい生き方に沿って育てる	子供にとって何よりも大切なことは「人間の正しい生き方」を知ること。親や周囲の者がそれを知り、それに向かって導かなければ、教育は海図なき羅針盤なき航海に等しいものになってしまいます。
⑪魂を育てる	学校は万能ではない。技能や知識の教育はできても「人の道」を教えることを学校に期待すべきではない。子供の素直で豊かな魂を育てることが親の役割、家庭教育の役割と信じて育てましょう。
⑫教師を尊敬して育てる	子供が先生に対して素直でない、生意気な態度を取るときは、きっと親が先生を尊敬していない。親が先生を尊敬することが、教育の出発であり、ゴールでもあります。先生を敬愛して育てましょう。

## 母親の家庭教育観～「よく遊ばせ・夫婦仲良く」

家庭教育観12指標に対する共感度はいずれも6割以上であり、その多くは支持されている。

また、前回同様、『よく遊ばせて育てる』『夫婦仲良く育てる』の共感度は高く、『子供は「わがもの」でなく「あずかりもの」』『教師を尊敬して育てる』は低い。なお、前回が低かった『無償の愛を持って育てる』はコンセプト文の変更により共感度が大幅にUPした。

## 家庭教育観の形成要因～「母親」の影響の強さ／高実践層には「父」「祖父母」「コミュニティ」の影響も

家庭教育観の形成要因について、①人的要因、②環境要因、③経験要因の3つの視点から考察した。

①人的要因としては「母親」がもっとも多くあげられた。②環境要因としては「自分の育てられ方・親にされたこと」と「個人的な体験や思索の積み重ね」が同程度あげられた。

なお、家庭教育観12指標の実践度が高い層では、①人的要因として母親以外に「父」「祖父母」の影響をあげる人も多く、②環境要因として「コミュニティ」も多い。また、③経験要因として食事や礼儀作法、上下の序などの“しつけ”の経験率も、実践度が低い層より高い。

## 共感度を高めるために～『無償の愛』『教師を尊敬』は母親の影響も／『あずかりもの』は書物等による影響も

前回調査で共感度が低かった3指標について共感・非共感の理由と形成要因を調査した。

『無償の愛をもって育てる』の非共感理由は“理想だが実際には難しい”が多く、形成要因は母親や生い立ちの影響が強い。『子供は「あずかりもの」』は、“あずかりものではない”という反論が多いが、共感層では「書物」や「個人的な体験や思索の積み重ね」の影響も多くあげており、学習による変化が考えられる。

『教師を尊敬して育てる』の非共感理由は“教師による”が多く、形成要因も「(自分が習った)教師」が多いが、共感者では母親や生い立ちの影響も多くあげられている。



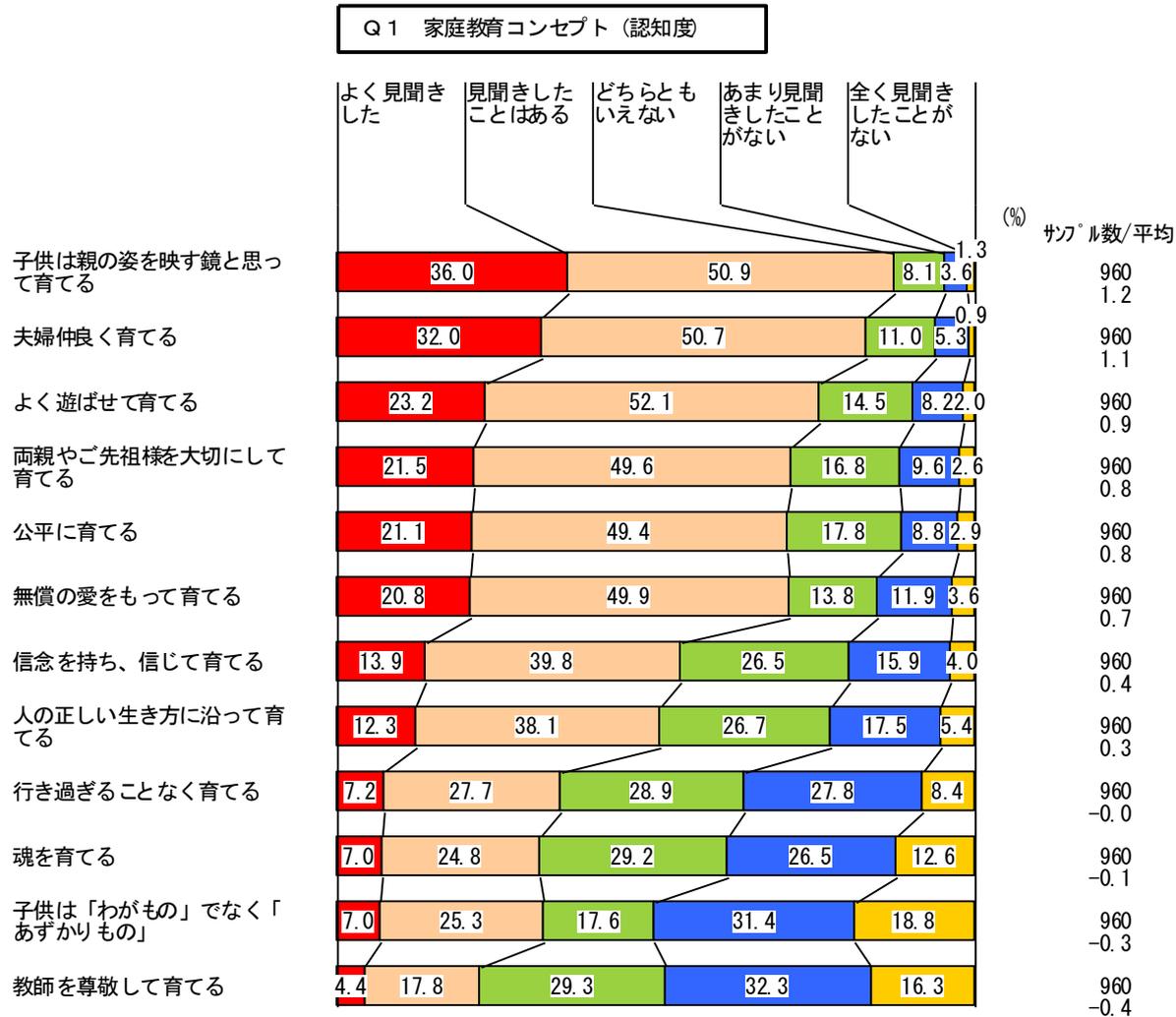
# 調査結果サマリー

# 家庭教育観

# 家庭教育観(認知度)

家庭教育観12指標のうち6指標は認知度が7割を超えて、多くの人に認知されている。

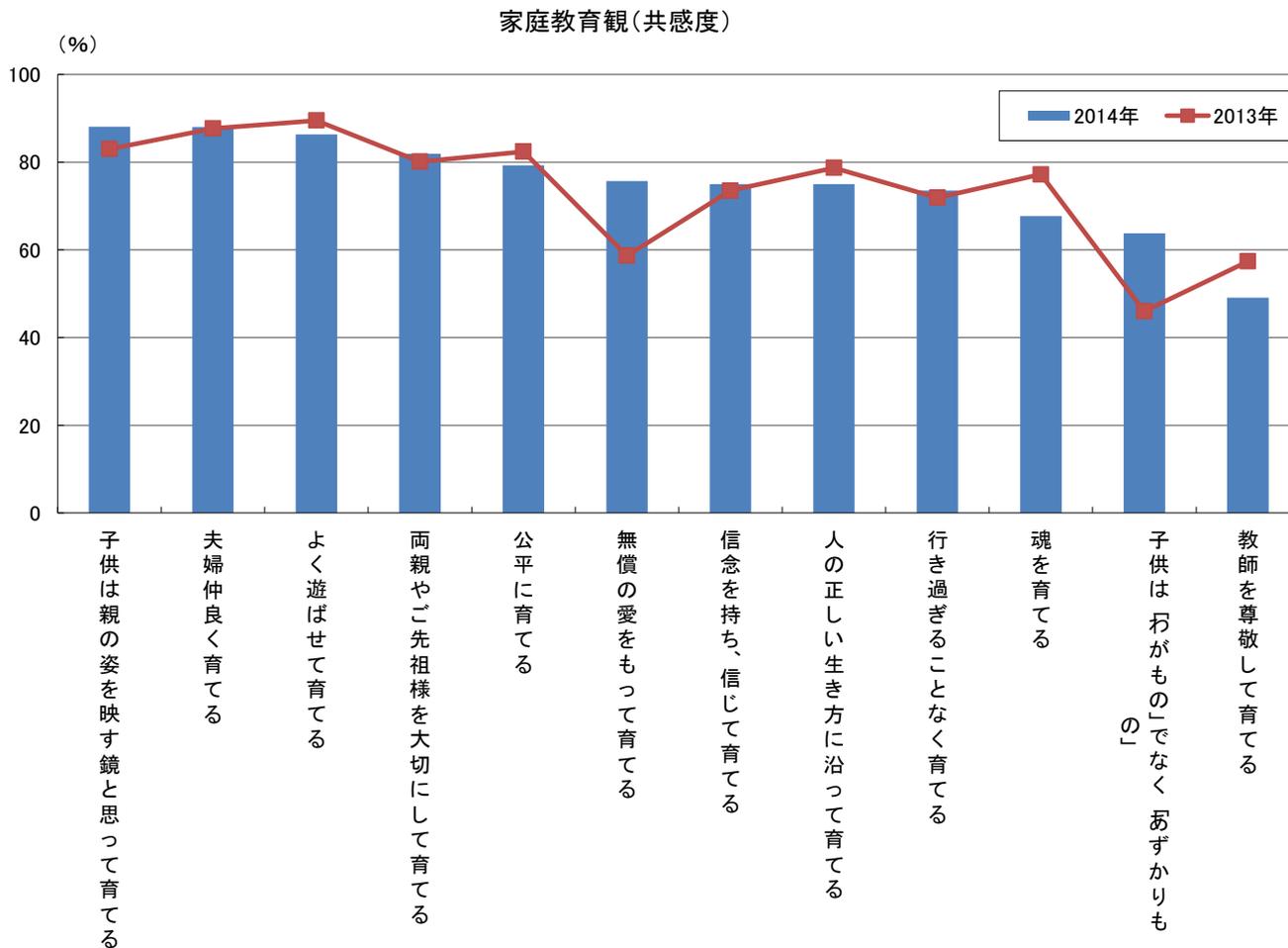
一方、「教師を尊敬して育てる」「子供は「わがもの」でなく「あずかりもの」「魂を育てる」「行き過ぎることなく育てる」は認知度が4割未満と低い。



# 家庭教育観(共感度)

家庭教育12指標に対する共感度は、「教師を尊敬して育てる」以外は、いずれも6割以上であり、特に「子供は親の姿を映す鏡と思って育てる」「夫婦仲良く育てる」「よく遊ばせて育てる」への共感度が高い。

なお、前年に低かった「無償の愛をもって育てる」は大幅に増加。コンセプト文を変更した影響と思われる。また、「子供は「わがもの」でなく「あずかりもの」は全体では低位であるものの、共感度は6割以上と大幅に増加した。



# 家庭教育観(共感度、重要度、実践度、意向度)

『子供は親の姿を映す鏡と思って育てる』『夫婦仲良く育てる』『よく遊ばせて育てる』は、共感度、重要度、実践度、意向度のいずれも高くなっている。ただし、『よく遊ばせて育てる』は前年と比べていずれも低下している。なお、前年低かった『無償の愛を持って育てる』は、共感度～意向度のすべてが増加して中位につけたが、『子供は「わがもの」でなく「あずかりもの』『教師を尊敬して育てる』は、前年と同様、共感度～意向度のいずれも低い。

## ■家庭教育観の共感度・重要度・実践度・意向度

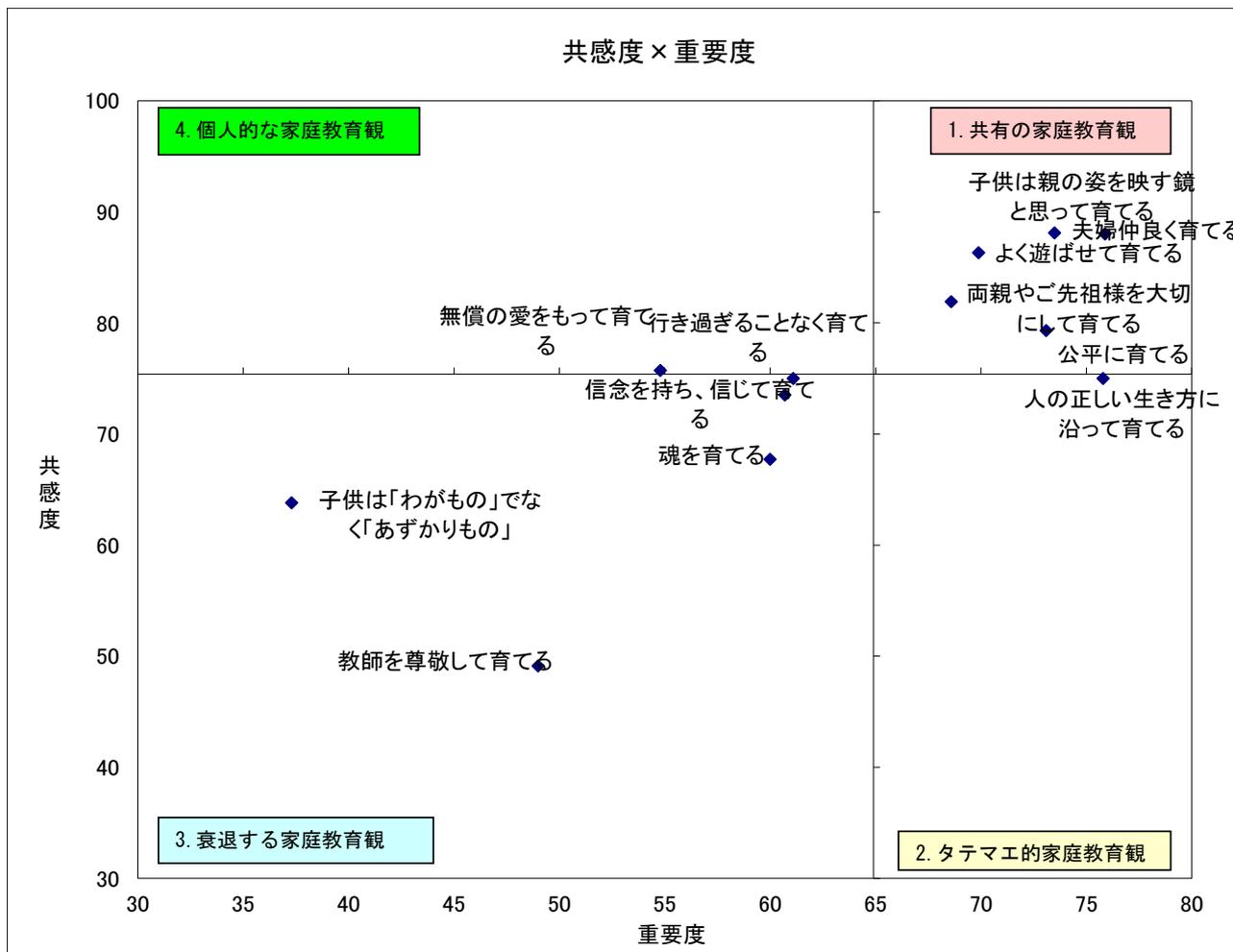
(%)

	共感度			重要度			実践度			意向度		
	2013年	2014年	トピ									
子供は親の姿を映す鏡と思って育てる	83.0	88.1	↗	73.5	75.1	↗	57.0	58.4	↗	88.3	84.7	↘
夫婦仲良く育てる	87.7	88.0	↗	75.9	73.8	↘	65.2	63.9	↘	85.8	82.8	↘
よく遊ばせて育てる	89.5	86.3	↘	69.9	69.0	↘	72.5	68.2	↘	90.2	85.3	↘
両親やご先祖様を大切に育てる	80.1	81.9	↗	68.6	66.8	↘	60.5	58.5	↘	85.4	81.0	↘
公平に育てる	82.4	79.3	↘	73.1	67.8	↘	64.4	57.9	↘	85.9	79.4	↘
無償の愛をもって育てる	58.7	75.7	↗	54.8	63.8	↗	51.6	60.1	↗	73.5	79.6	↗
信念を持ち、信じて育てる	73.5	75.0	↗	61.1	61.1	-	52.6	47.5	↘	80.1	77.4	↘
人の正しい生き方に沿って育てる	78.7	75.0	↘	75.8	71.7	↘	68.1	62.3	↘	86.8	79.4	↘
行き過ぎることなく育てる	71.9	73.5	↗	60.7	60.1	↘	49.5	44.5	↘	83.0	78.5	↘
魂を育てる	77.2	67.7	↘	60.0	55.7	↘	52.4	42.0	↘	78.1	70.5	↘
子供は「わがもの」でなく「あずかりもの」	46.0	63.8	↗	37.3	47.6	↗	30.3	30.7	↗	62.3	69.0	↗
教師を尊敬して育てる	57.4	49.1	↘	49.0	45.6	↘	47.1	36.3	↘	69.2	61.4	↘
平均値	73.8	75.3	↗	63.3	63.2	↘	55.9	52.5	↘	80.7	77.4	↘

※網掛け:黄色は平均値より5ポイント以上高い、青色は5ポイント以上低い

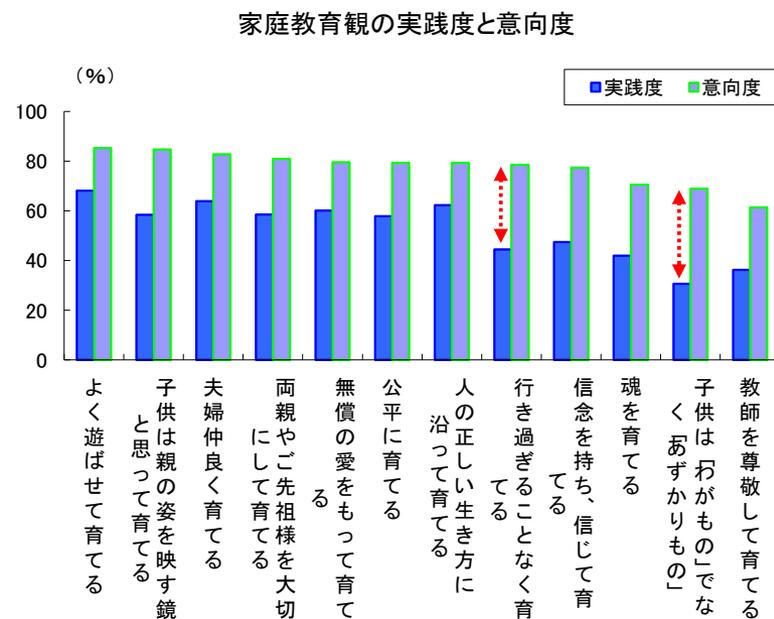
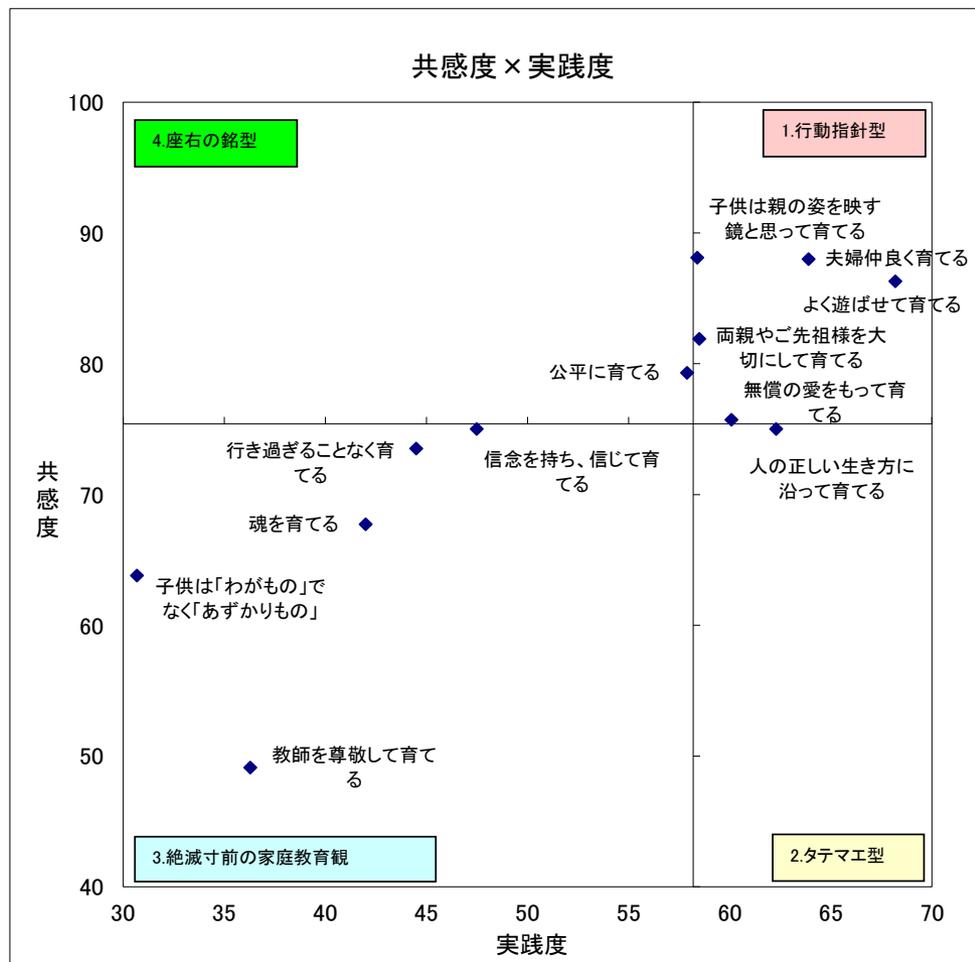
# 家庭教育観(共感性×重要度)

「子供は親の姿を映す鏡とって育てる」「夫婦仲良く育てる」「よく遊ばせて育てる」「両親やご先祖様を大切に育てる」「公平に育てる」は、(個人的)共感性と(社会的)重要度がともに高い。  
これらは広く共有されている家庭教育観といえる。



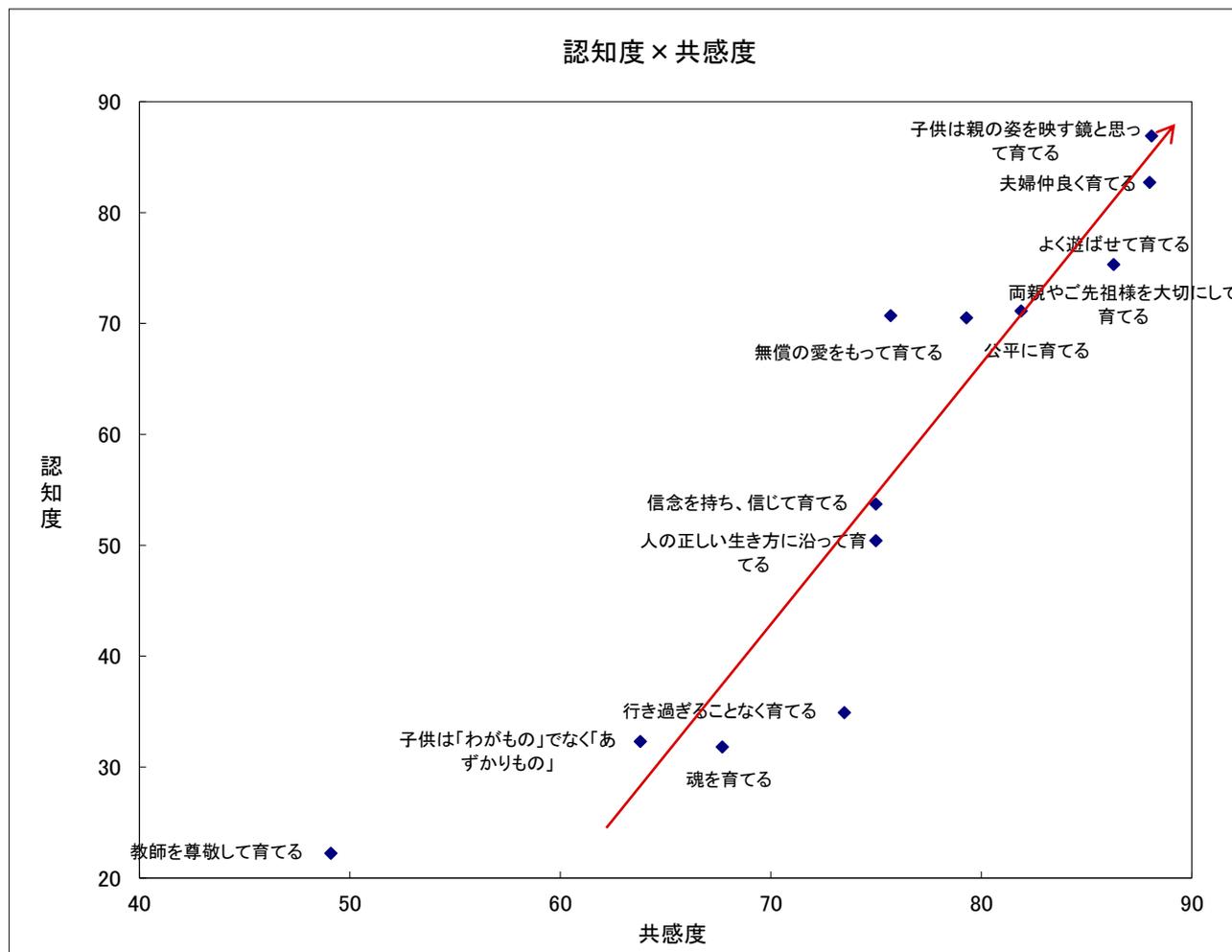
# 家庭教育観(共感度×実践度)

「子供は親の姿を映す鏡と思って育てる」「夫婦仲良く育てる」「よく遊ばせて育てる」「両親やご先祖様を大切に育てる」「無償の愛を持って育てる」は、共感度と実践度がともに高く、行動規範となっている。  
 なお、実践度と意向度のギャップが大きいのは、「行き過ぎることなく育てる」「子供は「わがもの」でなく「あずかりもの」」などであり、これらはわかってはいても実行しにくいものと考えられる。



# 家庭教育観(認知度と共感度)

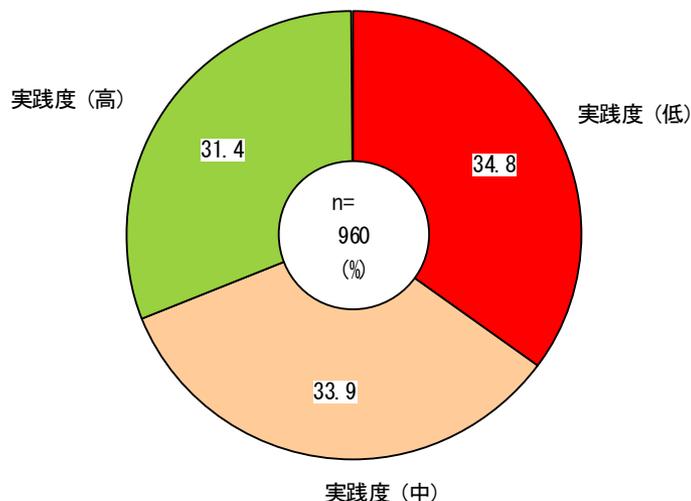
認知度と共感度の関係を見ると、概ね認知度が高いほど共感度も高くなる傾向にある。



# 家庭教育観の実践度得点

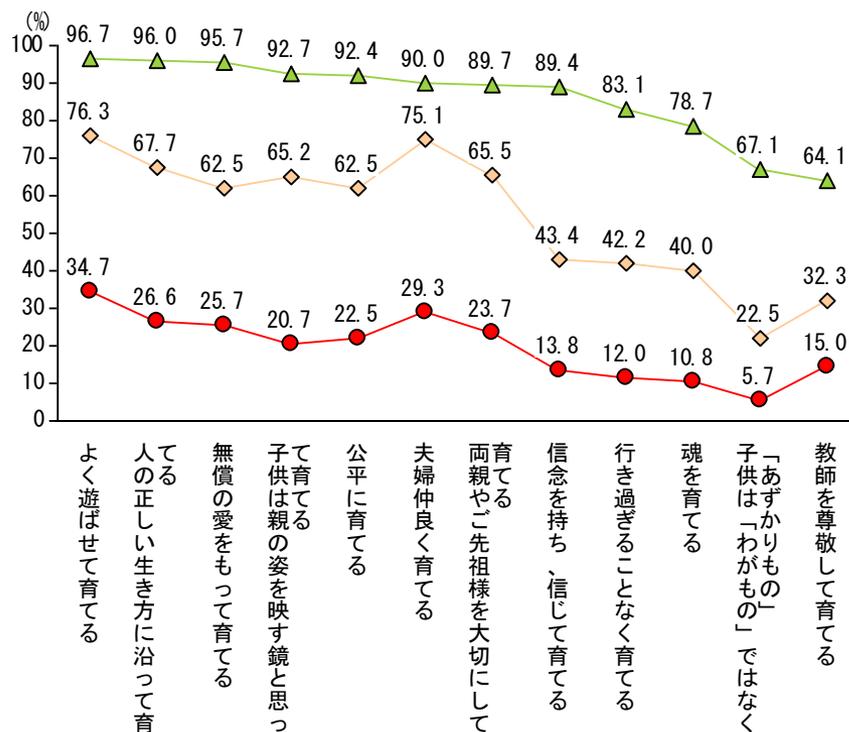
家庭教育観の実践度については、回答結果に得点を与えて合計得点を算出しそれによって回答者を層化した。実践度合計得点が高い「実践度(高)」の層では、多くの項目が7割以上の実践率であり、「教師を尊敬して育てる」についても6割以上が実践している。

\*家庭教育観 (実践度合計得点による階層化)



Q4 家庭教育コンセプト (『実践している』の割合)

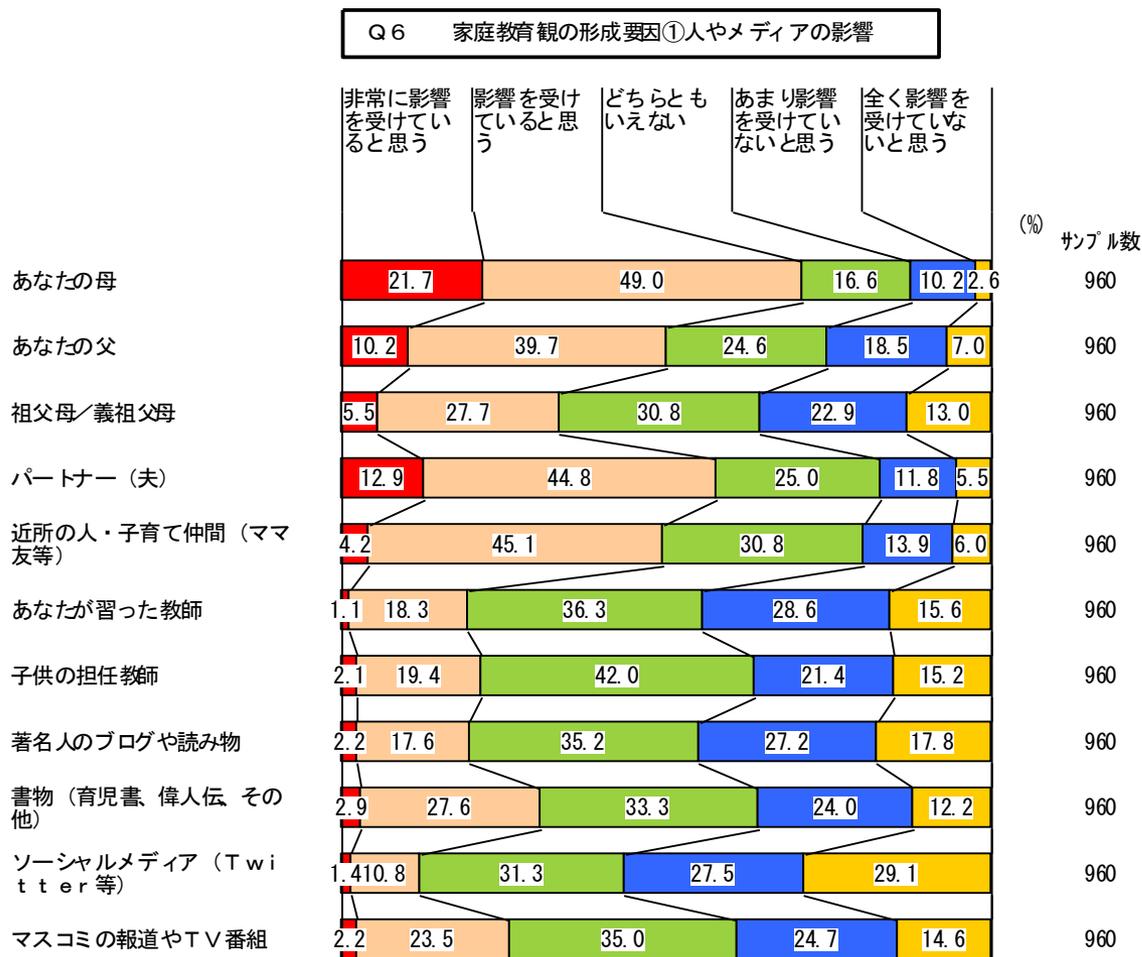
● 実践度 (低) n=334  
 ▲ 実践度 (高) n=301  
 ◆ 実践度 (中) n=325



# 家庭教育観の形成要因

# 家庭教育観の形成要因①人やメディアの影響

家庭教育観の形成要因として、①人やメディアがどの程度影響していると思うか聞いた。  
 この結果、7割以上が「母」の影響をあげ、次いで「パートナー(夫)」「父」「近所の人・子育て仲間」などをあげる人が5割前後と多い。なお、「書物・育児書」「マスコミ報道」をあげる人も3割前後みられる。

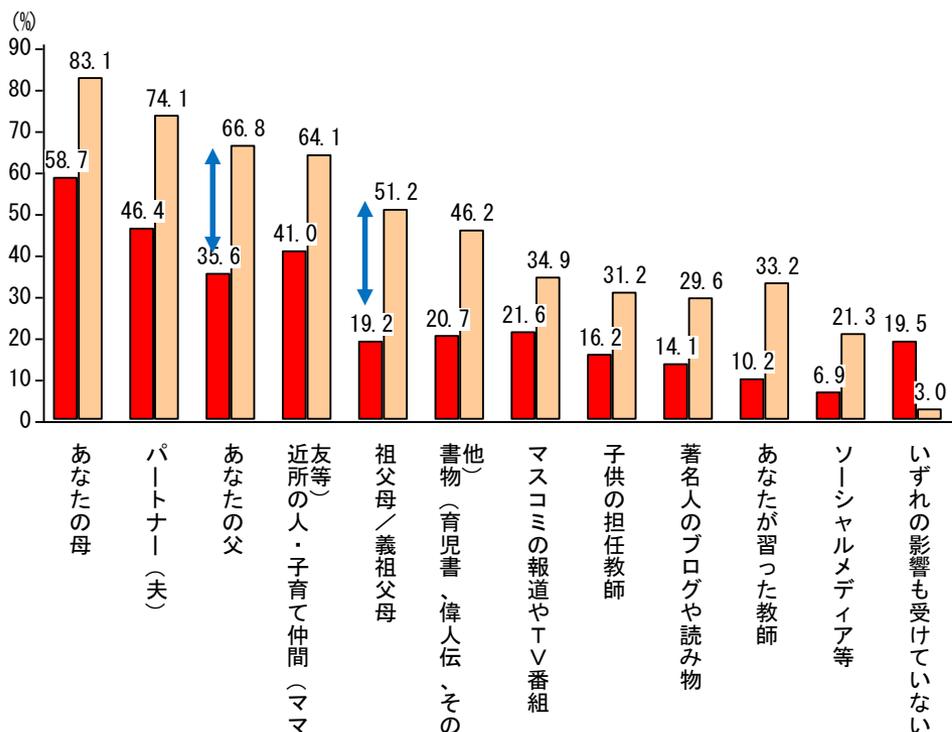


# 家庭教育観の形成要因①人やメディアの影響

家庭教育観の実践度得点別にみると、実践度が高い層と低い層では、特に「父」「祖父母」などで差が大きく、望ましい家庭教育観の形成にはこれらの影響もより強いと考えられる。

Q 6 家庭教育観の形成要因①人やメディアの影響（『影響を受けていると思う』の割合）

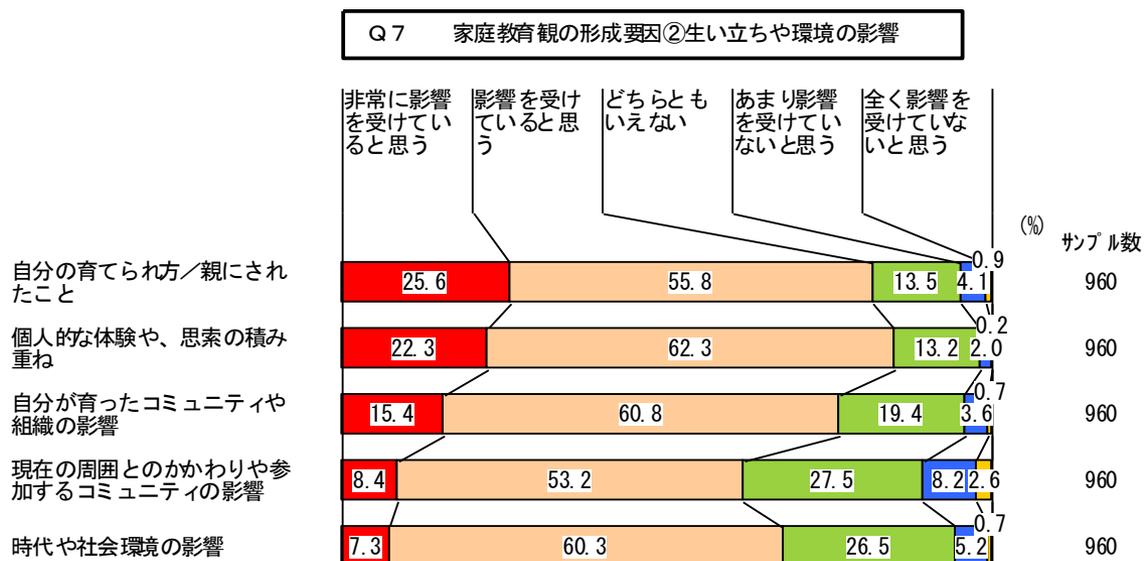
■ 実践度（低） n=334  
■ 実践度（高） n=301



# 家庭教育観の形成要因② 生い立ちや環境

家庭教育観の形成要因として、②生い立ちや環境がどの程度影響していると思うか聞いた。

この結果、「自分の育てられ方／親にされたこと」と「個人的な体験や、思索の積み重ね」の影響をあげる人が多い。また、コミュニティや社会環境の影響をあげる人も6割以上みられる。

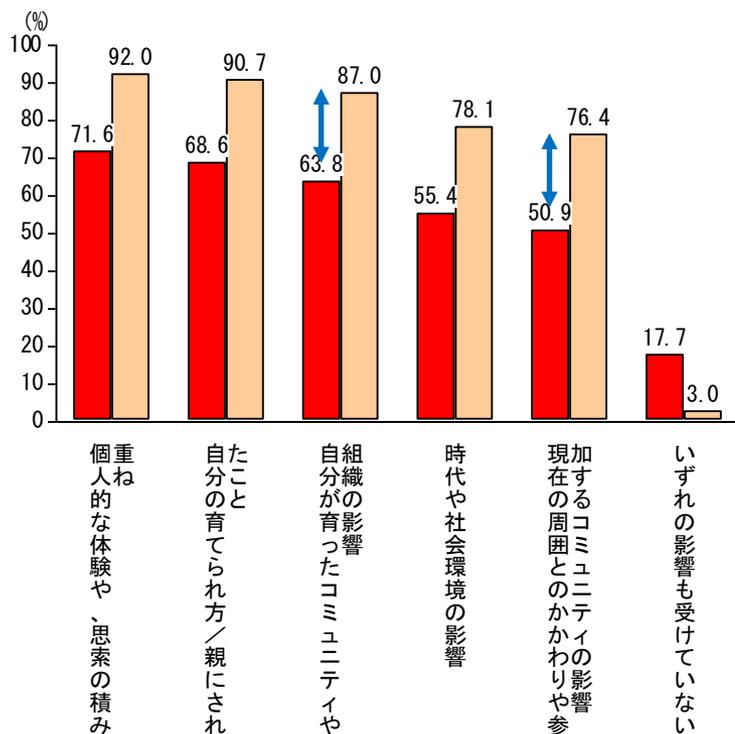


# 家庭教育観の形成要因② 生い立ちや環境

家庭教育観の実践度得点別にみると、実践度が高い層と低い層では、「自分が育ったコミュニティや組織の影響」「現在の周囲とのかかわりや参加するコミュニティの影響」でやや差が大きく、望ましい家庭教育観の形成にはコミュニティの影響も強いと考えられる。

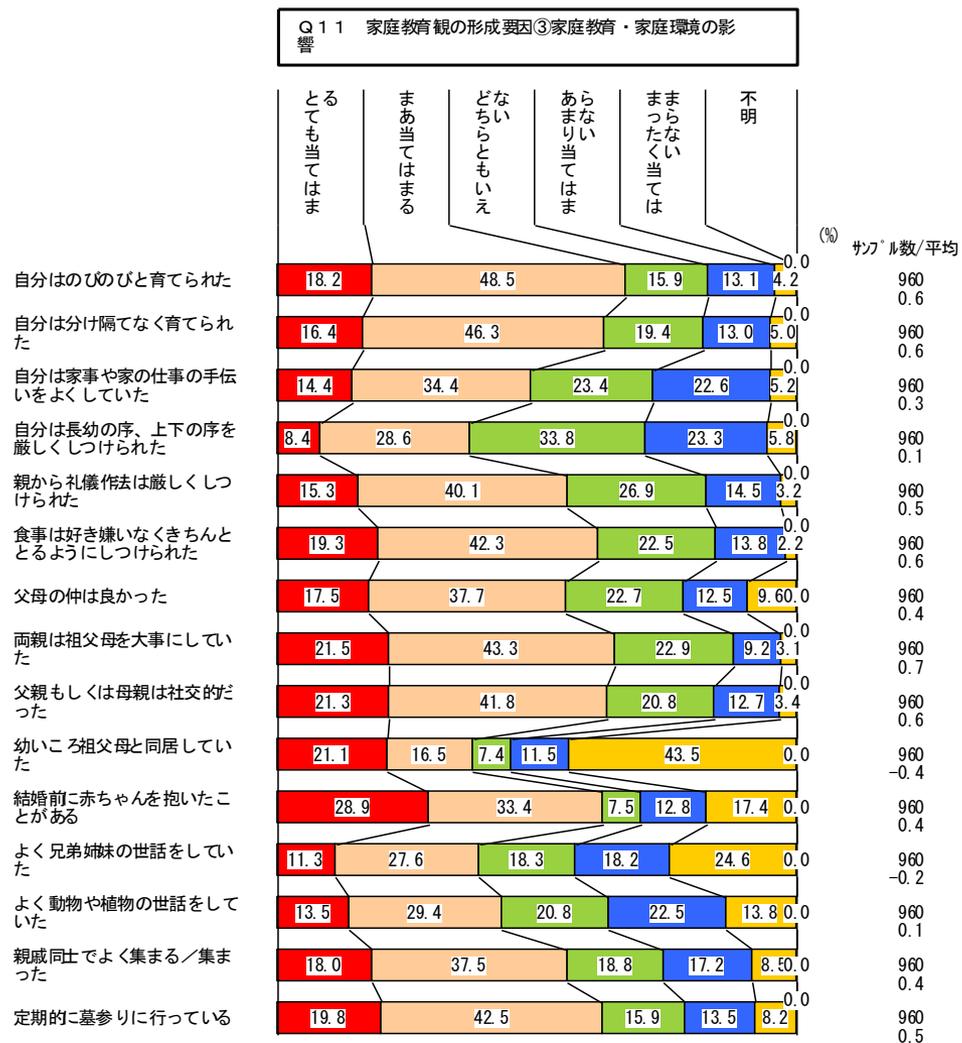
Q 7 家庭教育観の形成要因② 生い立ち・関係・環境の影響（『影響を受けていると思う』の割合）

■ 実践度（低） n=334  
■ 実践度（高） n=301



# 家庭教育観の形成要因③過去の経験との関係

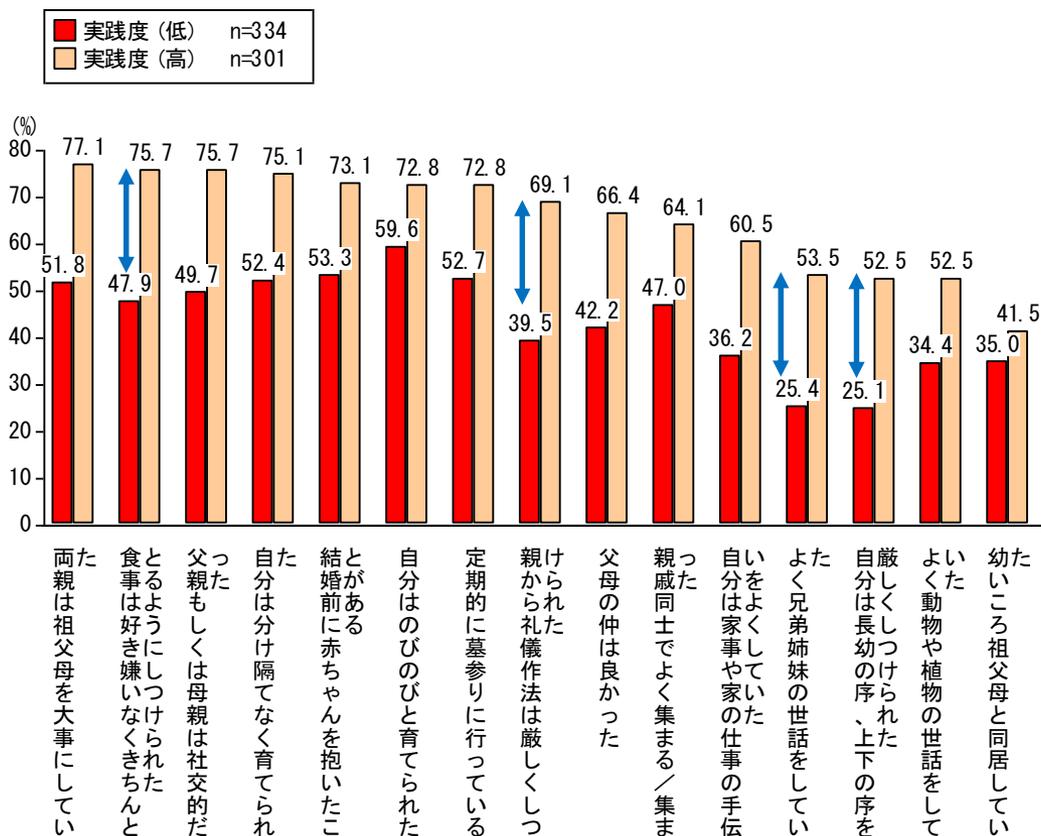
自らが育った家庭教育環境について、「自分のはのびのびと育てられた」「自分は分け隔てなく育てられた」「食事は好き嫌いなくきちんととるようにしつけられた」「両親は祖父母を大事にしていた」「父親もしくは母親は社交的だった」などについて、6割以上が『当てはまる(とても+まあ)』と回答している。



# 家庭教育観の形成要因③過去の経験との関係

家庭教育観の実践度得点別にみると、実践度が高い層と低い層では、特に「食事は好き嫌いなくきちんとするようにしつけられた」「親から礼儀作法は厳しくしつけられた」「よく兄弟姉妹の世話をしていた」「自分は長幼の序、上下の序を厳しくしつけられた」などで差が大きく、望ましい家庭教育観の形成にはこれら“しつけ”の影響も強いと考えられる。

Q 1 1 家庭教育観の形成要因③家庭教育・家庭環境の影響（『当てはまる』の割合）



# 共感性が低い家庭教育観の形成要因

# 家庭教育観

前回調査で共感度が低かった、『無償の愛をもって育てる』『子供は「わがもの」でなく「あずかりもの』『教師を尊敬して育てる』について、共感できない理由を記述回答で聞いた。

## 『無償の愛をもって育てる』

### <共感できない理由:主な意見>

- 言葉で言うのは簡単だけど、実際は難しい
- 中途半端な愛情はなぜいけないか
- 何も求めないのはおかしい
- 愛情あたえすぎもだめ 等

※「(理想だが)実際は難しい」という回答が多い。また、「中途半端で弱弱しい～」という表現に反発を覚えた人も。

## 『子供は「わがもの」でなく「あずかりもの』

### <共感できない理由:主な意見>

- あずかりものだと考えられない
- わがものではないが、あずかりものとも思えない
- 子供はやはり自分のもの 等

※「あずかりものだと考えられない」という回答が圧倒的に多い。明確に反対する意見である。

## 『教師を尊敬して育てる』

### <共感できない理由:主な意見>

- よい教師ばかりではない
- そこまで尊敬できる人に出会っていない
- 教師にそこまで求めていない
- 基本的には尊敬すべきだと思うが、尊敬に値しない人もいる
- 昔とは考え方が違うと思う 等

※最も多かったのは「教師による(よい教師ばかりではない)」。

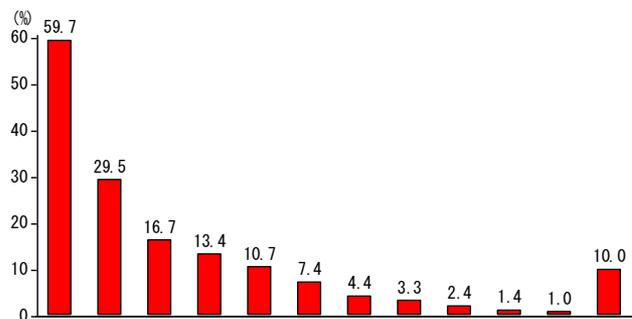
# 家庭教育観(無償の愛をもって育てる)

「無償の愛をもって育てる」という家庭教育観の形成要因を聞いたところ、「母」や「自分の育てられ方」をあげる人が多くっており、特に共感層でその傾向が顕著である。

この家庭教育観の形成は、生い立ちや親の影響が強いことがうかがわれる。

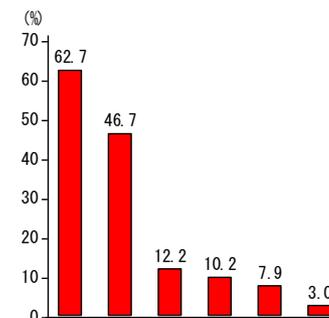
Q9 家庭教育観(3指標)の形成要因①人やメディアの影響 無償の愛をもって育てる

TOTAL n=960



②生い立ち・関係・環境の影響

TOTAL n=960



Q2 家庭教育コンセプト(共感度) 無償の愛をもって育てる	n	Q9 形成要因											
		1	2	4	3	9	11	5	8	6	10	7	12
0 TOTAL	960	59.7	29.5	16.7	13.4	10.7	7.4	4.4	3.3	2.4	1.4	1.0	10.0
1 とても共感できる	221	68.3	31.2	14.5	13.6	11.3	6.3	2.3	3.6	4.1	1.4	1.8	8.1
2 まあ共感できる	506	65.0	33.8	19.0	15.8	13.2	6.1	4.5	3.8	2.0	1.6	0.8	5.3
3 どちらともいえない	169	45.6	20.1	15.4	8.3	4.7	9.5	7.7	1.2	1.8	0.0	1.2	17.2
4 あまり共感できない	58	27.6	5.5	10.3	6.9	3.4	13.8	1.7	5.2	1.7	3.4	0.0	34.5
5 まったく共感できない	6	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

Q2 家庭教育コンセプト(共感度) 無償の愛をもって育てる	n	Q2 形成要因					
		1	2	3	5	4	6
0 TOTAL	960	62.7	46.7	12.2	10.2	7.9	3.0
1 とても共感できる	221	74.2	47.5	10.0	8.6	7.7	1.8
2 まあ共感できる	506	69.4	45.5	13.2	8.3	8.5	1.6
3 どちらともいえない	169	39.6	44.4	13.6	17.2	5.9	6.5
4 あまり共感できない	58	34.5	56.9	8.6	12.1	10.3	10.3
5 まったく共感できない	6	0.0	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0

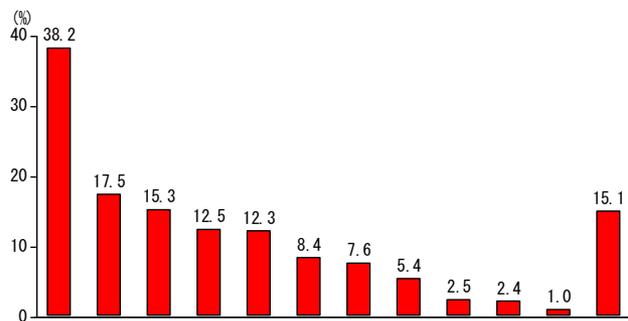
# 家庭教育観(子供は「わがもの」でなく「あずかりもの」)

「子供は「わがもの」でなく「あずかりもの」という家庭教育観の形成要因を聞いたところ、「個人的な体験や思索の積み重ね」がもっとも多くなっている。また、共感層は非共感層よりも「書物」の影響も強い。

この家庭教育観の形成は、生い立ちのほか、書物や思索などを通じた学習の影響も強いと考えられる。

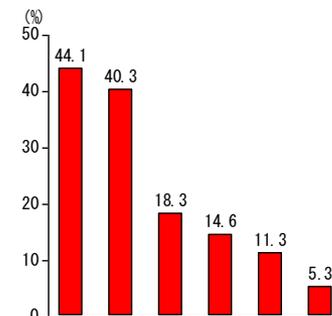
Q9 家庭教育観(3指標)の形成要因①人やメディアの影響 子供は「わがもの」ではなく「あずかりもの」

TOTAL n=960



②生い立ち・関係・環境の影響

TOTAL n=960



Q2 家庭教育コンセプト(共感度) 子供は「わがもの」ではなく「あずかりもの」	n	Q9 形成要因											
		1	2	9	4	11	3	8	5	10	6	7	12
0 TOTAL	960	38.2	17.5	15.3	12.5	12.3	8.4	7.6	5.4	2.5	2.4	1.0	15.1
1 とても共感できる	172	33.7	20.3	22.7	14.5	14.5	11.0	9.3	6.4	1.2	2.3	0.6	12.8
2 まあ共感できる	441	42.6	19.5	18.8	13.2	12.5	9.1	9.1	3.9	3.4	2.3	1.4	9.1
3 どちらともいえない	220	36.8	13.6	7.3	10.9	13.2	7.3	5.0	8.2	1.4	2.7	0.9	19.1
4 あまり共感できない	106	31.1	13.2	8.5	9.4	7.5	2.8	5.7	5.7	3.8	2.8	0.9	29.2
5 まったく共感できない	21	33.3	14.3	0.0	14.3	4.8	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.6

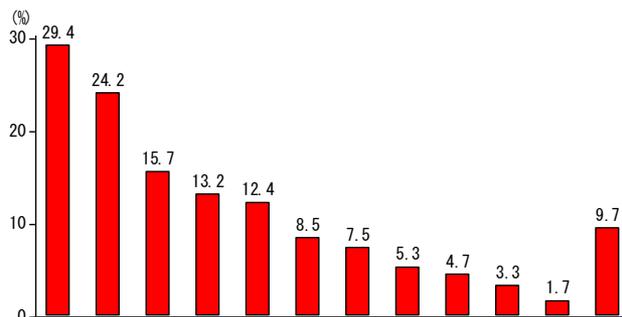
Q2 家庭教育コンセプト(共感度) 子供は「わがもの」ではなく「あずかりもの」	n	Q9 形成要因					
		2	1	5	3	4	6
0 TOTAL	960	44.1	40.3	18.3	14.6	11.3	5.3
1 とても共感できる	172	52.9	42.4	16.9	21.5	13.4	4.7
2 まあ共感できる	441	43.1	44.4	17.2	12.2	12.5	2.5
3 どちらともいえない	220	36.8	36.8	22.7	14.5	8.6	9.1
4 あまり共感できない	106	45.3	39.2	17.9	16.0	9.4	10.4
5 まったく共感できない	21	61.9	28.6	9.5	0.0	4.8	4.8

# 家庭教育観(教師を尊敬して育てる)

「教師を尊敬して育てる」という家庭教育観の形成要因を聞いたところ、非共感層では「(習った)教師」の影響がもっとも多いが、共感層では「母」がもっとも多い。また、共感層では「個人の体験や思索の積み重ね」のほか、「自分の育てられ方」も多くなっているが、非共感層では「自分の育てられ方」をあげる人は少ない。この家庭教育観の形成は、「教師」や「個人的な体験」の影響とともに、「母親」の影響も強いと考えられる。

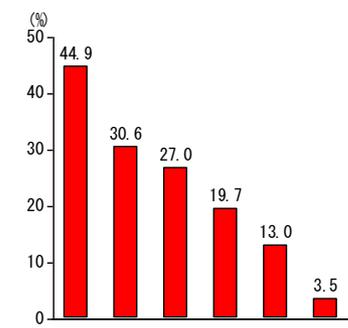
Q9 家庭教育観(3指標)の形成要因①人やメディアの影響 教師を尊敬して育てる

■ TOTAL n=960



②生い立ち・関係・環境の影響

■ TOTAL n=960



Q2 家庭教育コンセプト (共感度) 教師を尊敬して育てる	n	6	1	11	7	2	4	9	5	3	8	10	12
		あなたが習った教師	あなたの母	マスコミの報道やTV番組	子供の担任教師	あなたの父	パートナー(夫)	書物(育児書、偉人伝、その他)	近所の人・子育て仲間(ママ友等)	祖父母/義祖父母	著名人のブログや読み物	ソーシャルメディア(Twitter等)	その他 具体的に:
0 TOTAL	960	29.4	24.2	15.7	13.2	12.4	8.5	7.5	5.3	4.7	3.3	1.7	9.7
1 とても共感できる	105	23.8	39.0	12.4	13.3	21.9	6.7	12.4	4.8	7.6	3.8	0.0	7.6
2 まあ共感できる	367	22.9	35.4	12.0	9.8	18.8	10.6	10.1	4.1	6.5	4.4	0.8	5.2
3 どちらともいえない	340	32.4	15.0	18.8	14.4	5.6	7.9	5.3	5.9	3.2	2.9	2.1	14.1
4 あまり共感できない	115	40.9	7.8	18.3	19.1	6.1	1.7	7.0	0.9	0.9	3.5	13.9	
5 まったく共感できない	33	48.5	3.0	27.3	18.2	3.0	6.1	6.1	9.1	3.0	3.0	6.1	6.1

Q2 家庭教育コンセプト (共感度) 教師を尊敬して育てる	n	2	1	5	3	4	6
		個人的な体験や、思索の積み重ね	自分の育てられ方/親にされ	時代や社会環境の影響	自分が育ったコミュニティや組織の影響	現在の周囲とのかかわりや参加	その他 具体的に:
0 TOTAL	960	44.9	30.6	27.0	19.7	13.0	3.5
1 とても共感できる	105	50.5	51.4	6.2	24.8	17.1	1.0
2 まあ共感できる	367	46.6	42.8	8.8	18.3	13.9	1.4
3 どちらともいえない	340	38.2	7.9	34.7	18.5	11.8	5.9
4 あまり共感できない	115	49.6	5.7	37.4	21.7	11.3	5.2
5 まったく共感できない	33	60.6	2.1	36.4	24.2	9.1	6.1



知からチカラを。チカラに知を。